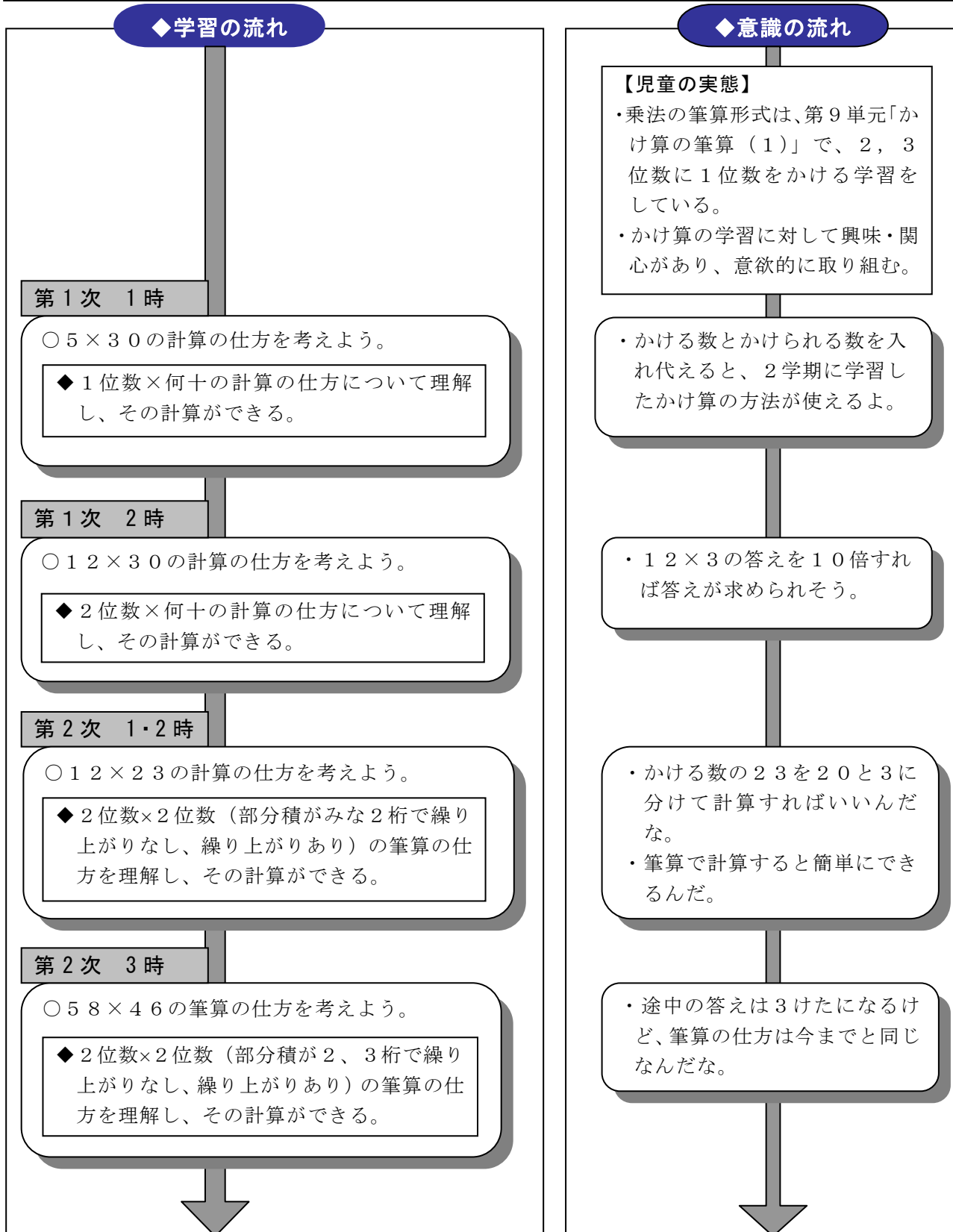


第3学年 算数科 単元計画

(土佐清水市立清水小学校)

1 単元構想図

単元名 「かけ算の筆算(2)」(全13時間) 教材名 『かけ算の筆算を考えよう』(東京書籍3年上)
--



◆学習の流れ

第2次 4時

- 86×30 の簡単な筆算の方法を考えよう。
- 3×46 の筆算と 46×3 の筆算を比べて、どちらが計算しやすいか考えよう。

◆ 2位数×2位数（乗数の末尾に0がある）の簡便な計算の仕方や、1位数×2位数の計算は乗法の交換法則を用いても計算できることを理解する。

第2次 5時

- 587×34 の筆算の仕方を考えよう。

◆ 3位数×2位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

第2次 6時

- 703×25 の筆算の仕方を考えよう。

◆ 3位数×2位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

第3次 1時

- ドーナツ12個分の代金を求めよう。

◆ 2つの数の倍関係を用いると、1あたりを基準量としなくても全体量を求められる場合があることを理解する。

第3次 2時

- もとにする大きさを求めるには、どんな計算をすればよいか考えよう。

◆ 基準量を求める場合には、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□をもとめればよいことを理解する。

◆意識の流れ

- ・ 0にどんな数をかけても0だから、 0×6 と 0×8 の計算は省いてもいいんだ。
- ・ かけられる数とかける数を入れ代えて計算した方が「は・か・せ（速く・簡単・正確に）」でできる時もあるんだ。

- ・ かけられる数が3けたになっても、筆算の仕方は今までと同じなんだな。

- ・ 703 の0も、他の数字と同じと考えて計算すればいいんだな。

- ・ 問題の意味が分からないな。
- ・ 1個の値段を求めて代金を求める方法と、12個が4個の何倍かを求めて代金を求める方法があるんだな。

- ・ どんな式を立てたらいいのか分からないな。
- ・ 数直線に表して考えると分かりやすいな。

◆学習の流れ

第4次 1時

- 25×4 をもとにして、 25×8 、 8×25 の暗算の仕方を考えよう。
- 23×3 、 230×3 、 23×30 の暗算の仕方考えよう。

◆簡単な場合の2位数 \times 1位数の暗算の仕方を理解し、その計算ができる。

第4次 11時

- 「力をつけるもんだい」の取り組む。
- 「しあげ」の問題に取り組む。

◆学習内容を適用して問題を解決する。
◆学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。

◆意識の流れ

・かけ算のきまりを使えば、暗算で計算できるんだな。

・今まで学習したことを使って解いてみよう。

【単元でつけたい力】

- ・2位数や3位数に2位数をかける乗法の筆算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。

2 単元について

(1) 単元観

本単元で扱う乗法の筆算は、学習指導要領には以下のように位置づけられている。

第3学年 A数と計算

(3) 乗法についての理解を深め、その計算が確実にできるようにし、それを適切に用いる能力を伸ばす。

- ア 2位数や3位数に1位数や2位数をかける乗法に計算の仕方を考え、それらの計算が乗法九九などの基本的な計算を基にしてできることを理解すること。また、その筆算の仕方について理解すること。
- イ 乗法の計算が確実にでき、それを適切に用いること。
- ウ 乗法に関して成り立つ性質を調べ、それを計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりすることに生かすこと。

乗法の筆算形式は、第9単元「かけ算の筆算(1)」で、2, 3位数に1位数をかける場合を学習をしている。本単元では、乗数が2位数の場合の筆算へと発展させる。また、2位数と1位数の乗法が暗算でもできるようにする。

(2) 児童観

本学年の児童60名は、難しい問題に対しても、最後まであきらめずに学習に取り組むことができる。基礎的な計算力も身に付いてきた。また、四月当初に比べると、友達の考えをしっかりと聞き取り、それに対して自分の考えを発表することができる児童が多くなってきた。

しかし、まだ、自分の考えを発表することを苦手とする児童、自力解決等に支援が必要な児童、繰り下がりのあるひき算やあまりのあるわり算が、速く・正確にできない児童もいる

(3) 指導観

本単元では、児童自ら2、3位数×2位数の計算の仕方を考え、児童の考えと筆算形式とを結び付けて理解するように展開したい。形式的な指導では、思考力や表現力は育たない。また、かえって誤答が増えてしまい、児童の計算力につかない恐れがあるためである。

また、倍の問題において基準量を求める際には、特に、第15単元の□を使った式の学習を活用して、第二用法の文脈で解釈すると立式しやすいことについて実感させたい。

さらに、被乗数が2位数で乗数が1位数の暗算では、分配法則を効果的に使用することで、部分積の和を求めやすくする工夫や、交換法則を使うことで、暗算しやすくする工夫をさせていきたい。乗数が何十の場合(23×30)であっても23×3の答えに0を付け加えれば答えが求まり、暗算での計算範囲も広げることができる。

3 単元の目標

○2位数や3位数に2位数をかける乗法の筆算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。

4 単元の評価規準

算数への 関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての 技能	数量や図形についての 知識・理解
・2～3位数×2位数の筆算の仕方について、2～3位数×1位数の計算を基にできることよさに気づき、学習に生かそうとしている。	・2～3位数×2位数の筆算について、数の構成や既習の乗法計算を基に考え、表現したりまとめたりすることができる。	・2～3位数×2位数の乗法の筆算の手順を基にして、計算が確実にできる。 ・簡単な2位数と1位数の乗法を暗算で計算することができる。	・2～3位数×2位数の乗法の筆算の仕方について理解している。

5 指導と評価の計画(全12時間)

次	時数	学習内容	評 価					
			関	考	技	知	評価規準	評価方法
第一次	1	○場面をとらえ、立式について考える。 ○5×30の計算の仕方を考える。 ○かける数が10倍になると、答えも10倍になることをまとめる。 ○1位数×何十の計算をする。	◎			○	【関】1位数×何十の計算について、乗法の結合法則を用いて考えようとしている。 【知】1位数×何十の計算の仕方を理解している。	観察 発言 観察 発言 ノート

	2	○ 12×30 の計算の仕方を考える。 ○ 2 位数 \times 何十の計算をする。		◎		○ 【考】 2 位数 \times 何十の計算の仕方を、2 位数 \times 1 位数の計算をもとにして式や図を用いて考え、説明している。 【知】 2 位数 \times 何十の計算の仕方を理解している。	観察 ノート 発言 観察 発言 ノート
第二次	3	○ 場面をとらえ、立式について考える。 ○ 12×23 の計算の仕方を考える。		◎		【考】 既習の計算を基に、2 位数 \times 2 位数の計算の仕方を式や図を用いて考え、説明している。	観察 ノート 発言
	4	○ 筆算の仕方をまとめる。 ○ 適用問題に取り組む。		◎		【技】 2 位数 \times 2 位数（部分積がみな 2 桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。	観察 ノート 発言
	5	○ 58×46 の筆算の仕方を考える。 ○ 36×47 、 23×26 、 24×83 などの計算を筆算でする。		◎		【技】 2 位数 \times 2 位数（部分積が 2、3 桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。	観察 ノート 発言
	6	○ 86×30 の簡便な筆算の方法を考える。 ○ 3×46 の筆算と 46×3 の筆算を比べてどちらが計算しやすいか考える。		◎	○	【考】 位の数字や桁数に着目して、計算のきまりを用いて簡単に計算する方法を考え、工夫している。 【知】 1 位数 \times 2 位数の計算を工夫して、2 位数 \times 1 位数で計算できることを理解している。	観察 ノート 発言 観察 ノート 発言
	7	○ 587×34 の筆算の仕方を、既習の筆算を基に考える。 ○ 桁数が増えても、既習の筆算と同じように計算できることをまとめる。		◎		【考】 3 位数 \times 2 位数の筆算の仕方を、2 位数 \times 2 位数や 3 位数 \times 1 位数などの筆算の仕方を基に類推して考え、説明している。	観察 ノート 発言
	8	○ 703×25 など空位のある場合の筆算の仕方を考える。 ○ 乗法の筆算を練習する。		◎		【技】 3 位数 \times 2 位数の筆算ができる。	観察 ノート 発言

第三次	9	<p>○ 1袋4個入りで36円のドーナツを12個買う時の代金の求め方を考える。</p> <p>○ ドーナツ1個あたりの値段を考えたり、12個が4個の何倍かを考えて求めたりして、12個分の代金を求める。</p>	◎			<p>【考】 1あたりの数量や2数の倍関係に着目して全体の代金の求め方を考え、説明している。</p>	観察 ノート 発言
	10	<p>○ 数量の関係を数直線を基に考え、□を用いて乗法の式に表す。</p> <p>○ □にあてはまる数を求めるには、除法を用いるか数をあてはめて調べることをおさえる。</p>	◎		○	<p>【考】 数量の関係を数直線を基にとらえ、□を用いた式に表すことを考え、説明している。</p> <p>【知】 未知数を□として乗法の式に表し、□の値を求めることができる。</p>	観察 ノート 発言 観察 ノート 発言
第四次	11	<p>○ $25 \times 4 = 100$をもとにして、25×8の暗算の仕方を考える。</p> <p>○ 8×25の暗算の仕方を考える。</p> <p>○ 23×3、230×3、23×30の暗算の仕方を考える。</p>			◎	<p>【知】 簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解している。</p>	観察 ノート 発言
第五次	12	<p>○ 「力をつけるもんだい」に取り組む。</p> <p>○ 「しあげ」に取り組む。</p>	◎		◎	<p>【技】 学習内容を適用して、問題を解決することができる。</p> <p>【知】 基本的な学習内容を身に付けている。</p>	観察 ノート 発言 観察 ノート 発言

6 展開

◆第1次1時（全1／12）

本時の目標	1位数×何十の計算の仕方について理解し、その計算ができる。		
観点別評価規準	<p>【関】1位数×何十の計算について、乗法の結合法則を用いて考えようとしている。</p> <p>【知】1位数×何十の計算の仕方を理解している。</p>		
準備物	p. 68の挿絵の拡大図 p. 70のアレイ図の拡大図 書画カメラ		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 5人がけの長いすが30こあります。 全部で何人すわれますか。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・立式する。 <p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 5×30の計算の仕方を考えよう。 </div> <p>3 見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テープ図にかいて考える。 ・アレイ図にかいて考える。 ・交換法則を使い、30×5にして考える。 <p>4 自力解決 《言語活動》</p> <p>5 伝え合う ・ペア学習をする。 《言語活動》</p> <p>6 深める ・全体で話し合いをする。 《言語活動》</p> <p>7 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 5×30の答えは、5×3の答えの10倍になる。 かける数が10倍になると、答えも10倍になる。 </div> <p>8 適用問題 ・p. 70の1の問題を解く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「1つの数」×「いくつ分」＝「全体の数」の言葉の式に当てはめて考えさせる。 ・友だちに伝えることで、自分の考えをまとめさせる。 ・計算の仕方についての理解を深めさせる。 	<p>【関】1位数×何十の計算について、乗法の結合法則を用いて考えようとしている。</p> <p>【知】1位数×何十の計算の仕方を理解している。</p>	<p>観察 発言</p> <p>観察 発言 ノート</p>

◆第1次2時（全2／12）

本時の目標	2位数×何十の計算の仕方について理解し、その計算ができる。		
観点別評価規準	【考】 2位数×何十の計算の仕方を、2位数×1位数の計算をもとにして式や図を用いて考え、説明している。 【知】 2位数×何十の計算の仕方を理解している。		
準備物	書画カメラ		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">12×30の答えを求めましょう。</div> 2 めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">12×30の計算の仕方を考えよう。</div> 3 見通す ・前時の学習を想起する。	・5×30の答えは、5×3の答えの10倍になる、かける数が10倍になると、答えも10倍になるという考え方が使えるかどうか考えさせる。	【考】 2位数×何十の計算の仕方を、2位数×1位数の計算をもとにして式や図を用いて考え、説明している。	観察 ノート 発言
4 自力解決 ≪言語活動≫ 5 伝え合う ・ペア学習をする。 ≪言語活動≫ 6 深め合う ・全体で話し合いをする。 ≪言語活動≫ 7 まとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">12×30は、12×3の答えの10倍になることを使えば答えが求められる。</div>			
8 適用問題 ・p70の2の問題を解く。	・計算の仕方についての理解を深めさせる。 ・計算の途中の式も丁寧に書かせる。		

◆第2次1・2時（3・4／12）

<p>本時の目標</p>	<p>2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。</p>		
<p>観点別評価規準</p>	<p>【考】既習の計算を基に、2位数×2位数の計算の仕方を式や図を用いて考え、説明している。 【技】2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。</p>		
<p>準備物</p>	<p>数直線図とテープ図（掲示用） 書画カメラ</p>		
<p>学習の展開</p>			
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>評価規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>1 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>1まい12円の工作用紙を23まい買います。 代金はいくらですか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・立式する。 <p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>12×23の計算の仕方を考えよう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・問題場面を把握させるため、言葉の式に当てはめたり、数直線に表したりして考えさせる。 		
<p>3 見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23を20と3に分けて計算する。 <p>4 自力解決 《言語活動》</p> <p>5 伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習をする。 《言語活動》 <p>6 深め合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で話し合いをする。 《言語活動》 ・筆算の仕方を知る。 <p>7 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>12×23の筆算は、12×3と12×20の答えを合わせる。（筆算でまとめる）</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「既習に帰着させる」という児童の発想を大いに認め、価値づけるようにする。 ・友だちに伝えることで、考えを整理させる。 ・筆算の仕方を意味理解させながら指導する。（乗数先唱） 	<p>【考】既習の計算を基に、2位数×2位数の計算の仕方を式や図を用いて考え、説明している。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>
<p>8 適用問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p73の1、2の問題を解く。 		<p>【技】2位数×2位数（部分積がみな2桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>

◆第2次3時（全5／12）

本時の目標	2位数×2位数（部分積が2、3桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。				
観点別評価規準	【技】2位数×2位数（部分積が2、3桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。				
準備物	書画カメラ				
学習の展開					
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法		
1 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">58×46の答えを求めましょう。</div> 2 めあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">58×46の筆算の仕方を考えよう。</div> 3 見通す ・既習の筆算の仕方を使って考える。	・友だちに伝えることで、考えを整理させる。 ・58×46は途中の答え（部分積）が3桁になっているが、筆算の仕方は同じであることをとらえさせる。				
4 自力解決 ≪言語活動≫					
5 伝え合う ・グループ学習をする。 ≪言語活動≫					
6 深め合う ・全体で話し合いをする。 ≪言語活動≫					
7 まとめる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">58×46の筆算は、58×6と58×40の答えを合わせる。（筆算でまとめる）</div>					
8 適用問題 ・p73の3、4の問題を解く。				【技】2位数×2位数（部分積が2、3桁で繰り上がりなし、繰り上がりあり）の筆算ができる。	観察 ノート 発言

◆第2次4時（6／12）

<p>本時の目標</p>	<p>2位数×2位数（乗数の末尾に0がある）の簡便な計算の仕方や、1位数×2位数の計算は乗法の交換法則を用いても計算できることを理解する。</p>		
<p>本時の評価規準</p>	<p>【考】位の数字や桁数に着目して、計算のきまりを用いて簡単に計算する方法を考え、工夫している。 【知】1位数×2位数の計算を工夫して、2位数×1位数で計算できることを理解している。</p>		
<p>準備物</p>	<p>書画カメラ</p>		
<p style="text-align: center;">学習の展開</p>			
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>評価規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>1 課題把握</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>86×30と3×46の答えを求めましょう。</p> </div> <p>2 めあての確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>86×30と3×46の筆算の仕方を工夫しよう。</p> </div> <p>3 見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習のかけ算のきまりを使って考える。 <p>4 自力解決</p> <p>《言語活動》</p> <p>5 伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習をする。 <p>《言語活動》</p> <p>6 深め合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で話し合いをする。 <p>《言語活動》</p> <p>7 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>何十をかける筆算は、一の位に0を書いたら、つづけて十の位を計算してもよい。 1けた×2けたの計算は、かける数とかけられる数を入れかえて、かける数をへらせば、かんたんに計算ができる。</p> </div>	<p>・友だちに伝えることで、考えを整理させる。</p> <p>・0にどんな数をかけても0だから、0×6と0×8を省略していることをおさえさせる。</p> <p>・交換法則を用いて、乗数の桁数を減らすことで、部分積が1段で済むようにしていることをおさえさせる。</p>	<p>【考】位の数字や桁数に着目して、計算のきまりを用いて簡単に計算する方法を考え、工夫している。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>
<p>8 適用問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p74の5、6、7の問題を解く。 		<p>【知】1位数×2位数の計算を工夫して、2位数×1位数で計算できることを理解している。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>

◆第2次5時（7／12）

本時の目標	3位数×2位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。
本時の評価規準	【考】3位数×2位数の筆算の仕方を、2位数×2位数や3位数×1位数などの筆算の仕方をもとに類推して考え、説明している。
準備物	0～9までの数カード（掲示用、児童用） 書画カメラ

学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 課題把握 □に0から9までの数字をあてはめて式をつくり、計算をしましょう。（587×34）			
2 めあてを確認する 587×34の数の筆算の仕方を考えよう。			
3 見通す ・既習の3位数×1位数や、2位数×2位数の筆算をもとに考える。			
4 自力解決 《言語活動》		【考】3位数×2位数の筆算の仕方を、2位数×2位数や3位数×1位数などの筆算の仕方をもとに類推して考え、説明している。	観察 ノート 発言
5 伝え合う ・グループ学習をする。 《言語活動》	・友だちに伝えることで、考えを整理させる。		
6 深め合う ・全体で話し合いをする。 《言語活動》	・3位数×2位数の筆算の仕方も、既習の筆算の仕方と同じであることをとらえさせる。		
7 まとめる 587×34の筆算は、587×4と587×30の答えを合わせる。（筆算でまとめる）			
8 適用問題 ・p75の8の問題を解く。			

◆第2次6時（全8／12）

本時の目標	3位数×2位数の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。		
観点別評価規準	【技】3位数×2位数の筆算ができる。		
準備物	書画カメラ		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 課題把握 703×25の答えを求めましょう。			
2 めあてを確認する 703×25の筆算の仕方を考えよう。			
3 見通す ・前時の学習を想起し、前時の問題との違いを考える。	・被乗数に空位があることをおさえさせる		
4 自力解決 《言語活動》			
5 伝え合う ・グループ学習をする。 《言語活動》	・友だちに伝えることで、考えを整理させる。		
6 深め合う ・全体での話し合い 《言語活動》	・被乗数に空位があっても、既習の筆算の仕方と同じであることをとらえさせる。		
7 まとめる 703の0も、他の数字と同じと考えて計算すればよい。			
8 適用問題 ・p75の9、10の問題を解く。		【技】3位数×2位数の筆算ができる。	観察 ノート 発言

◆第3次1時（全9／12）

本時の目標	2つの数の倍関係を用いると、1あたりを基準量としなくても全体量を求められる場合があることを理解する。				
観点別評価規準	【考】1あたりの数量や2数の倍関係に着目して全体の代金の求め方を考え、説明している。				
準備物	書画カメラ				
学習の展開					
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法		
1 課題把握	<ul style="list-style-type: none"> 半具体物や絵を使って、問題の意味を理解させる。 友だちに伝えることで、考えを整理させる。 ドーナツ1こあたりの値段を考える方法、12個が4個の何倍かを考えて代金を求める方法を理解させる。 	【考】1あたりの数量や2数の倍関係に着目して全体の代金の求め方を考え、説明している。	観察 ノート 発言		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ドーナツが1ふくろに4こ入って、36円で売っています。 このドーナツ12こ分の代金はいくらでしょうか。 </div>					
2 めあてを確認する				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ドーナツ12こ分の代金の求め方を考えよう。 </div>	
3 見通す				<ul style="list-style-type: none"> はじめに1こ分を求める。 はじめに袋の数を求める。 	
4 自力解決 《言語活動》					
5 伝え合う				<ul style="list-style-type: none"> グループ学習をする。 	
6 深め合う				<ul style="list-style-type: none"> 全体で話し合いをする。 	
7 まとめる				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ドーナツ1こ分のねだんを求めて代金を求める方法と、全部の数が1ふくろの数の何倍になっているかを考えて代金を求める方法がある。 </div>	
8 適用問題を解く。	<ul style="list-style-type: none"> p 76の1の問題を解く。 				

◆第3次2時（全10／12）

<p>本時の目標</p>	<p>基準量を求める場合には、□を用いて乗法の式に表し、除法を用いて□をもとめればよいことを理解する。</p>		
<p>観点別評価規準</p>	<p>【考】数量の関係を数直線を基にとらえ、□を用いた式に表すことを考え、説明している。 【知】未知数を□として乗法の式に表し、□の値を求めることができる。</p>		
<p>準備物</p>	<p>数直線の図と挿絵（掲示用） 書画カメラ</p>		
<p>学習の展開</p>			
<p>学習活動</p>	<p>指導上の留意事項</p>	<p>評価規準</p>	<p>評価方法</p>
<p>1 課題把握</p> <p>長いなわと短いなわがあります。長いなわの長さは、短いなわの長さの5倍で、20mです。 短いなわの長さは何mですか。</p>			
<p>2 めあてを確認する</p> <p>もとにする大きさを求めるには、どんな計算をすればよいか考えよう。</p>			
<p>3 見通す</p> <p>4 自力解決 《言語活動》</p> <p>5 伝え合う ・グループ学習をする。 《言語活動》</p> <p>6 深め合う ・全体で話し合いをする。 《言語活動》</p> <p>7 まとめる</p>	<p>・数直線の図や挿絵を見せ、「何の何倍の長さが20mかな」と助言し、数量の関係をとらえさせる。</p> <p>・友だちに伝えることで、考えを整理させる。</p> <p>・□にあてはまる数を求めるには、除法を用いることを、数直線の図や乗法の関係からおさえるようにする。</p>	<p>【考】数量の関係を数直線を基にとらえ、□を用いた式に表すことを考え、説明している。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>
<p>もとにする大きさを求める時は、□を使ってかけ算の式に表すと考えやすくなる。</p>			
<p>8 適用問題</p> <p>・提示された適用問題を解く。</p> <p>さわさんが持っているりんごの数は、妹が持っているりんごの数の6倍で、24こです。 妹が持っているりんごの数は何こですか。</p>		<p>【知】未知数を□として乗法の式に表し、□の値を求めることができる。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>

◆第4次1時（全11／12）

本時の目標	簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解し、その計算ができる。		
観点別評価規準	【知】簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解している。		
準備物	書画カメラ		
学習の展開			
学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
<p>1 課題把握</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">25×4=100です。このことを使って、25×8と8×25の答えを暗算で求めましょう。</p> <p>2 めあての確認</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">25×4をもとにして、25×8、8×25の暗算の仕方を考えよう。</p> <p>3 見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8が4の何倍かを考える。 <p>4 自力解決 《言語活動》</p> <p>5 伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習をする。 《言語活動》 <p>6 深め合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で話し合いをする。 《言語活動》 <p>7 まとめる</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">8は4の2倍だから、答えも2倍になる。</p> <p>8 めあての確認</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">23×3、230×3、23×30の暗算の仕方を考えよう。</p> <p>9 見通す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・23×3を計算する。 <p>10 自力解決 《言語活動》</p> <p>11 伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ学習をする。 《言語活動》 <p>12 深め合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で話し合いをする。 《言語活動》 <p>13 まとめる</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">暗算をする時は、かけ算のきまりを使うとよい。</p> <p>14 適用問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p78の△△の問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・始めに25×8から計算させ、次に8×25を計算させる。 ・8は4×2と表せることをおさえる。 ・8×25は、交換法則を活用すればよいことをおさえる。 <ul style="list-style-type: none"> ・23×3の答えをもとに考えさせる。 ・23×3の答え、乗数や被乗数が10倍になると、答えも10倍になるという乗法のきまりを活用できることを確認させる。 	<p>【知】簡単な場合の2位数×1位数の暗算の仕方を理解している。</p>	<p>観察 ノート 発言</p>

◆第5次1時（全12／12）

本時の目標	学習内容を適用して問題を解決する。 学習内容の定着を確認し、理解を確実にする。
観点別評価規準	【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。 【知】基本的な学習内容を身に付けている。
準備物	書画カメラ

学習の展開

学習活動	指導上の留意事項	評価規準	評価方法
1 「力をつけるもんだい」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> △の1～3位数×2位数の計算練習で、全ての問題を筆算で行おうとする児童には、被乗数または乗数が何十の場合は、暗算で処理できることに気づかせる。 △の乗法のきまりを適用して工夫して解く問題で、そのまま計算しようとする児童には、乗法の交換法則や、何十×0を省略することでより効果的に筆算が処理できる場合があったことを想起させる。 △の2位数×2位数、及びひき算で求められる文章問題で、1ダースの意味が分からない児童には、1ダース＝12本であることを助言する。 	【技】学習内容を適用して、問題を解決することができる。	観察 ノート 発言
2 「しあげ」に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ◇の2位数×2位数、2位数×3位数の筆算の仕方の理解を確認する問題で、部分積の位取りを間違える児童には、慣れないうちは部分積の0を省略しない筆算形式で計算するように助言する。 ◇の2位数×2位数の筆算の原理の理解を確かめる問題で戸惑っている児童には、教科書p74の、部分積の0を省略しない筆算を見せて考えさせる。 	【知】基本的な学習内容を身に付けている。	観察 ノート 発言

